

# 岩手県感染症週報

平成24年第47週(11月19日～11月25日)

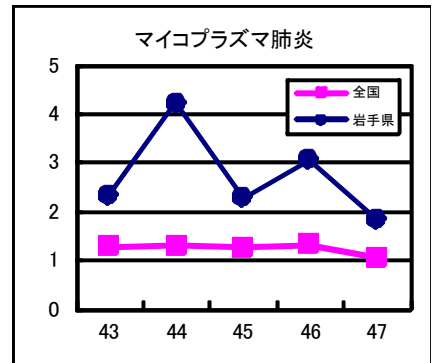
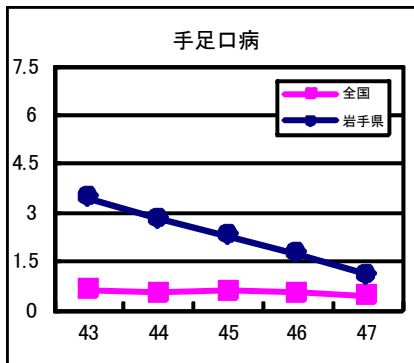
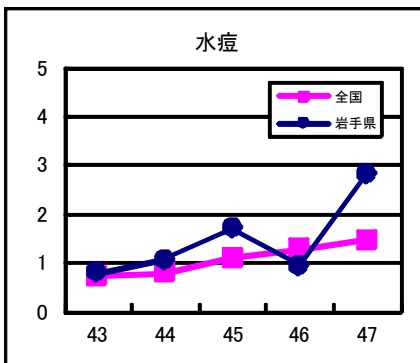
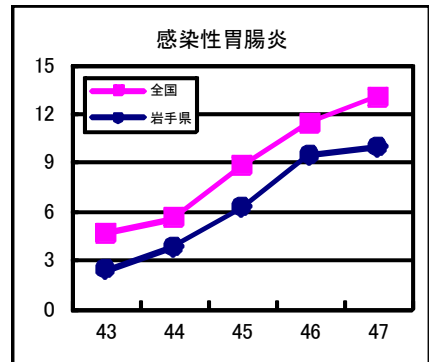
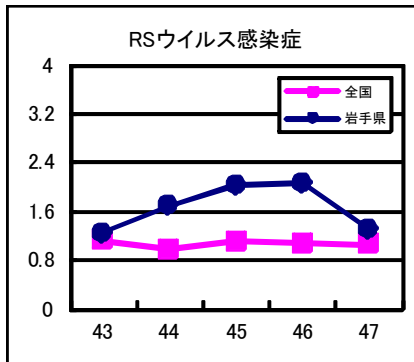
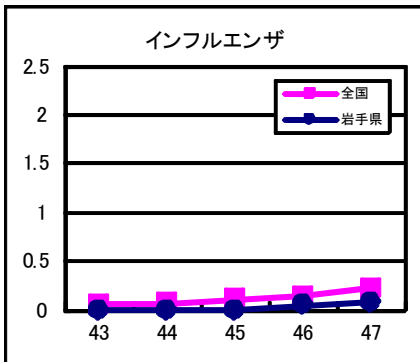
岩手県感染症情報センター

## 第47週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核 の報告が4例(潜在性結核感染症例1例)ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症 の患者の報告が、釜石地区から1例、中部地区から1例ありました。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)  
・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)  
・感染性胃腸炎は、前週よりやや増加しました。盛岡市、奥州、釜石および久慈地区で定点あたり患者数10人を超えています。11月に入ってからノロウイルスによる集団感染事例は、保育所で9例、介護老人保健施設で1例発生しています。予防には石けんによる十分な手洗いと、患者の汚物の適切な処理および家庭用次亜塩素酸消毒剤(ハイターなど)か熱湯1分間の消毒が必要です。  
・水痘(みずぼうそう)が急増しました。中部地区で警報値(定点あたり患者数7人)を、奥州地区で注意報値(同4人)を超えました。患者の年齢は1～4歳が多い。発病した場合は、全ての発疹が痂皮化するまで、保育所、幼稚園、学校などへの登園登校を中止しなければなりません。予防には、任意接種ですが、ワクチンが有効です。  
・インフルエンザは、盛岡市、中部、釜石および二戸地区から報告がありました。県央地区の小学校で県内において今シーズン初の閉鎖措置がとられました。ワクチンは、接種後効果が現れるまでに2週間程度かかることから、早めの接種が勧められます。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		43	44	45	46	47		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0.05	0.08	→	
	全国	0.06	0.07	0.11	0.14	0.22		
RSウイルス感染症	岩手県	1.23	1.68	2.03	2.05	1.3	↘	☆
	全国	1.13	0.98	1.11	1.08	1.05		
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.1	0.25	0.1	0.05	→	
	全国	0.2	0.19	0.27	0.3	0.32		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.7	0.73	1.58	1.3	1.15	→	☆
	全国	1.22	1.23	1.66	1.66	1.57		
感染性胃腸炎	岩手県	2.38	3.78	6.15	9.43	9.95	↗	☆
	全国	4.64	5.58	8.75	11.39	13.02		
水痘	岩手県	0.78	1.05	1.7	0.93	2.8	↗	☆☆
	全国	0.72	0.79	1.09	1.28	1.46		
手足口病	岩手県	3.45	2.8	2.28	1.75	1.1	↘	☆
	全国	0.63	0.55	0.59	0.55	0.46		
伝染性紅斑	岩手県	0.08	0.28	0.23	0.13	0.2	→	☆
	全国	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.38	0.65	0.45	0.28	→	☆
	全国	0.61	0.54	0.6	0.59	0.5		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.25	0.1	0.08	0.05	→	
	全国	0.13	0.1	0.08	0.08	0.06		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.2	1.13	1.88	1.3	1	→	☆
	全国	0.32	0.34	0.4	0.33	0.32		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	1	0.43	0.36	0.36	0.43	→	☆
	全国	0.51	0.4	0.57	0.58	0.48		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.03	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	2.32	4.21	2.26	3.05	1.84	↘	☆
	全国	1.28	1.31	1.26	1.32	1.06		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.05	0.04	0.06	0.05		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					全国		
	43	44	45	46	47	累計	47	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者数	4 (4)	8 (1)	6 (2)	4 (3)	4 (1)	273 (126)	297	26018
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	197
	腸管出血性大腸菌感染症	6	4	1	0	0	107	35	3607
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	31
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	20
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	105
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	155
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	9
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	23	292
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	202
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	161
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	70
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	1	1	0	2	6	20	785	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	28	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 43	44	45	46	47	累計	47	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	1	1	0	0	0	4	7	813
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	1	2	202
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	1	1	0	0	6	0	321
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	2	3	161
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	5	3	227
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	4	16	1263
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	65
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	12
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	1	3
	梅毒	0	0	0	0	0	3	3	781
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	100
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	83
	風しん	0	0	0	0	0	1	43	2093
	麻しん	0	0	0	0	0	2	5	282

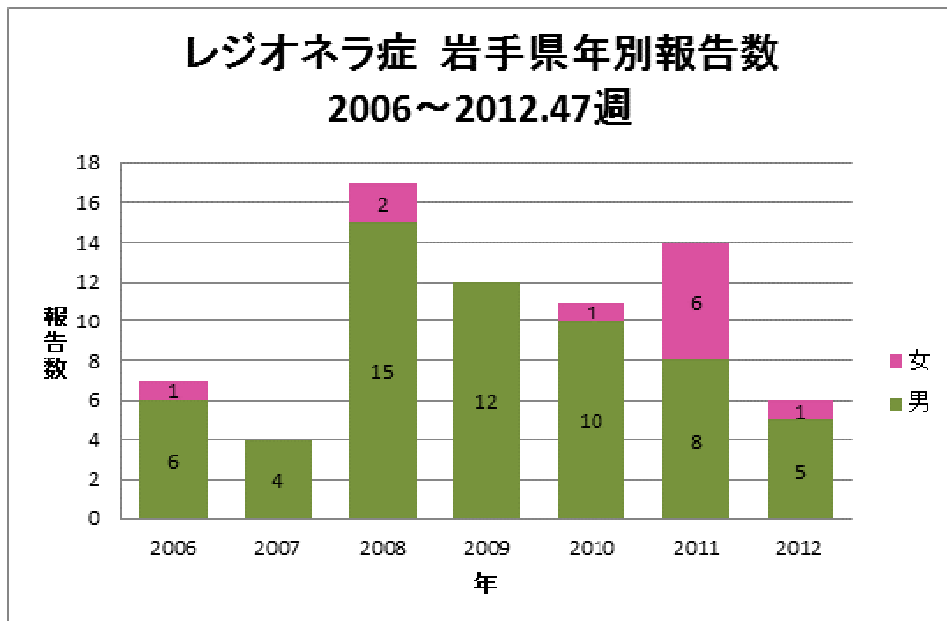
今注目の感染症

レジオネラ症

レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ肺炎型とポンテアック熱型の2つの病型があります。症状は、ポンテアック熱は発熱、悪寒、頭痛などのインフルエンザ様症状、レジオネラ肺炎は肺炎を主症状とし、四肢の脱力や意識障害などの神経・筋症状を伴う例や、急激に全身症状が悪化する例があります。

レジオネラ属菌は、人口水環境（循環式浴槽、冷却塔、給湯設備など）中で、その中で生息するアメーバなどの原虫類の細胞に侵入し大量に増殖します。増殖した菌がしぶき等のエアロゾルと共に飛散し、それを吸入することにより感染します。ヒト→ヒト感染はないとされています。

高齢者、糖尿病、慢性呼吸器疾患、喫煙者、大量飲酒者など抵抗力の弱い人が、本疾患の発病のリスクグループです。



今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

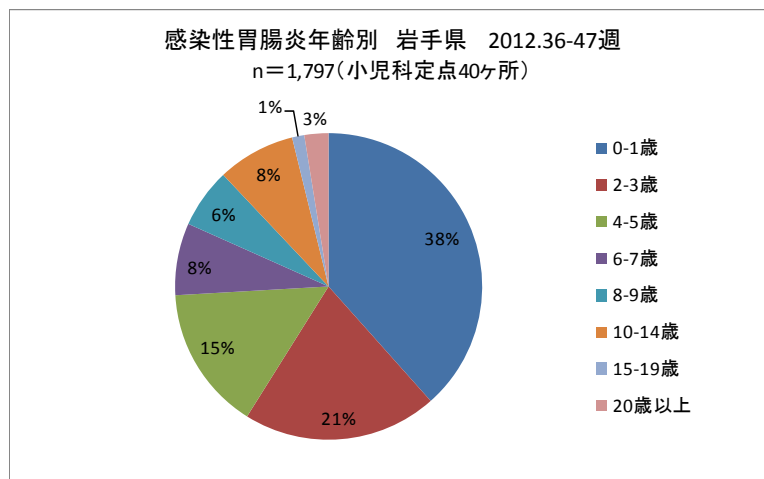
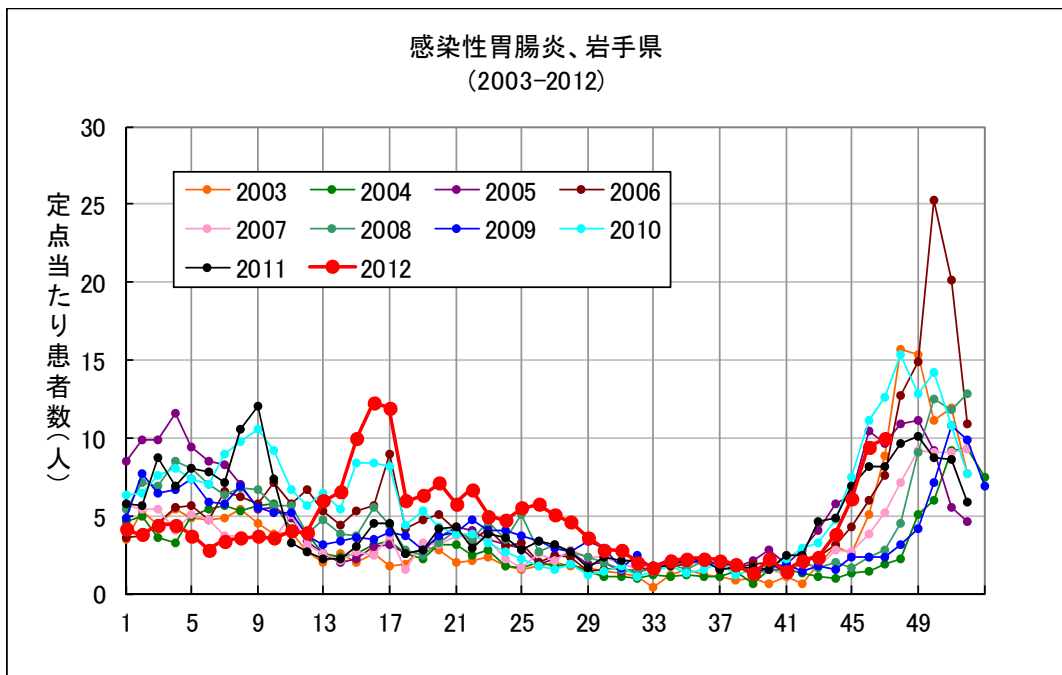
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」:<http://idsc.nih.gov/jp/disease/norovirus/taio-a.html>、  
「医療従事者・施設スタッフ用」:<http://idsc.nih.gov/jp/disease/norovirus/taio-b.html>



今注目の感染症 (つづき)

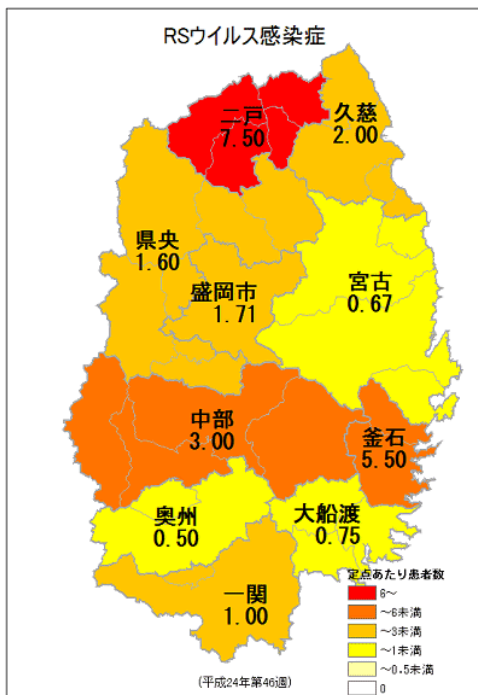
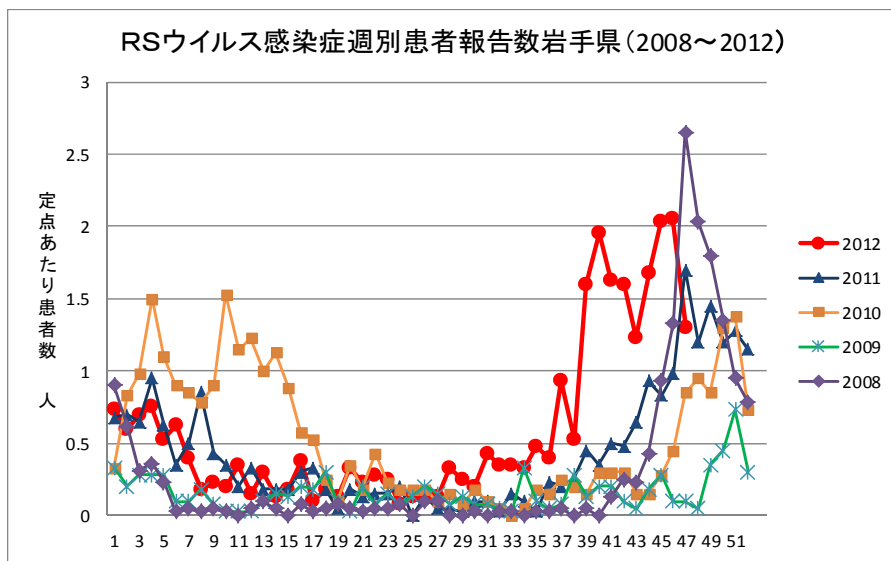
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、冬を中心に流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。乳児の半数が生後1歳までに、ほぼ100%が2歳までに初感染を受けますが、終生免疫は獲得されず、一生の間に何度か感染を繰り返します。

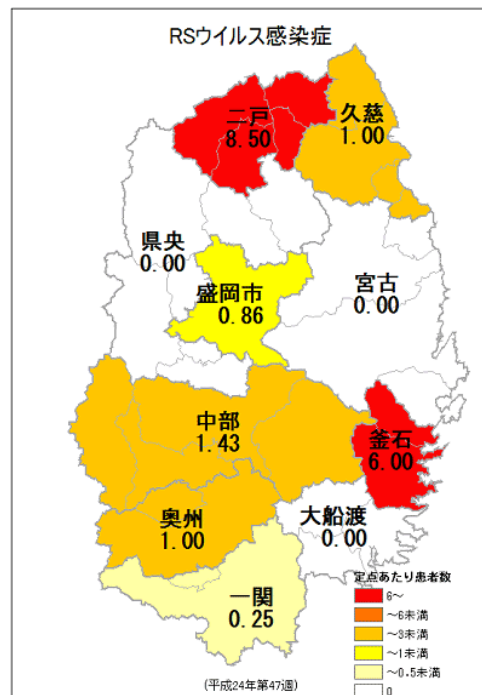
感染経路は、飛沫感染および接触感染（鼻汁や喀痰のウイルスが手指や器物を介し感染）です。年長者の再感染事例等では、典型的な症状を呈さず軽症例もあることから、家族間感染や乳幼児の集団感染に注意が必要です。

症状は、鼻水、咳、発熱が主ですが、乳児患者の10～40%が細気管支炎、肺炎などの下気道炎を起こすといわれています。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、注意が必要です。

予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。



第46週



第47週

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について（11月26～28日発表分）

1 矢巾町内の保育所（児童数153名、職員数35名）

- ・11月16日（金）から11月23日（金）にかけて30名（園児29名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者5名中4名からノロウイルスを確認

2 滝沢村内の保育所（児童数142名、職員数26名）

- ・11月15日（木）から11月26日（月）にかけて37名（児童36名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者7名（児童5名、職員1名）からノロウイルスを確認

3 滝沢村内の介護老人保健施設（入所者数96名、職員数58名）

- ・11月21日（水）から11月27日（火）にかけて51名（入所者47名、職43名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者6名中6名（利用者6名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（11月28日発表分）

- ・岩手県発表 1件
- ・盛岡市発表 なし

詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=4104&of=1&ik=1&pnp=3324&pnp=4104&cd=42750>

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

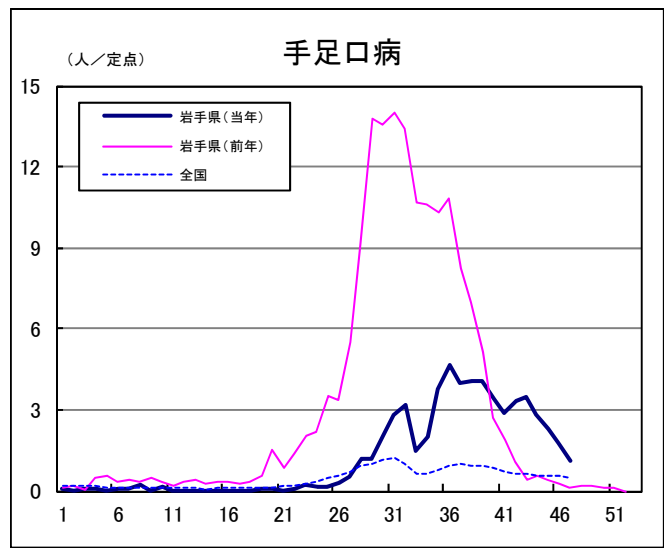
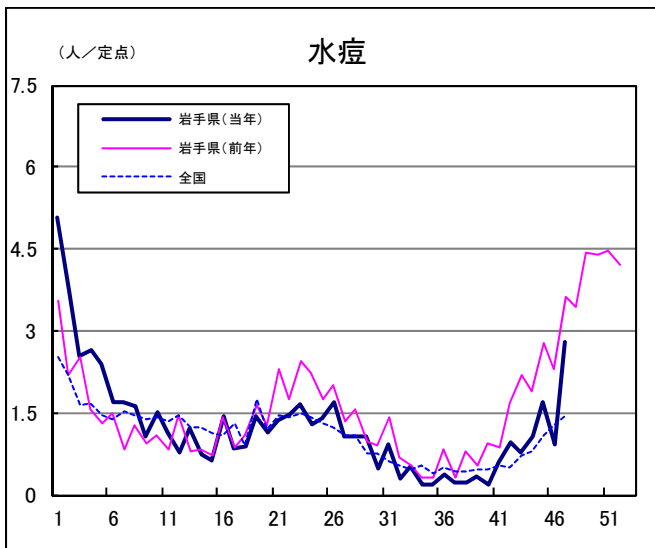
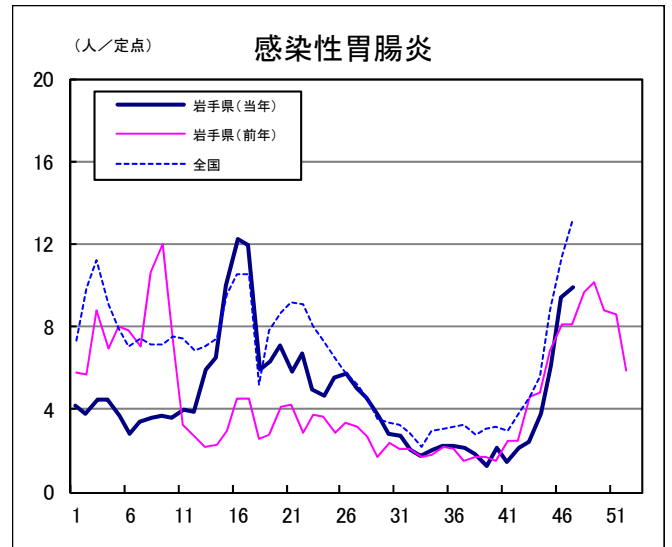
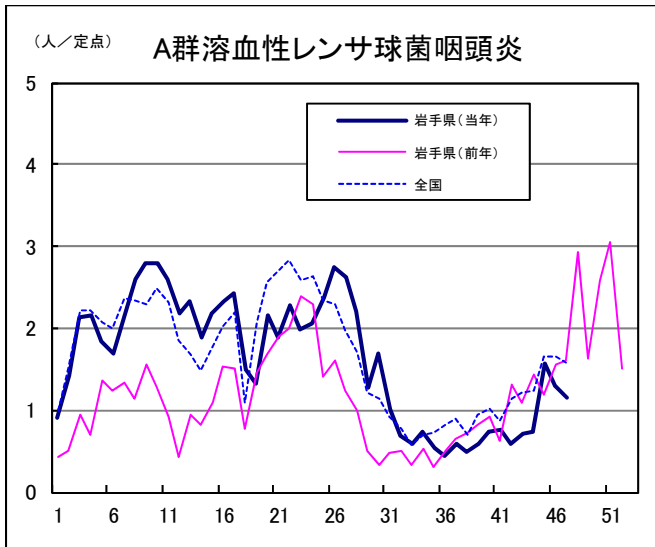
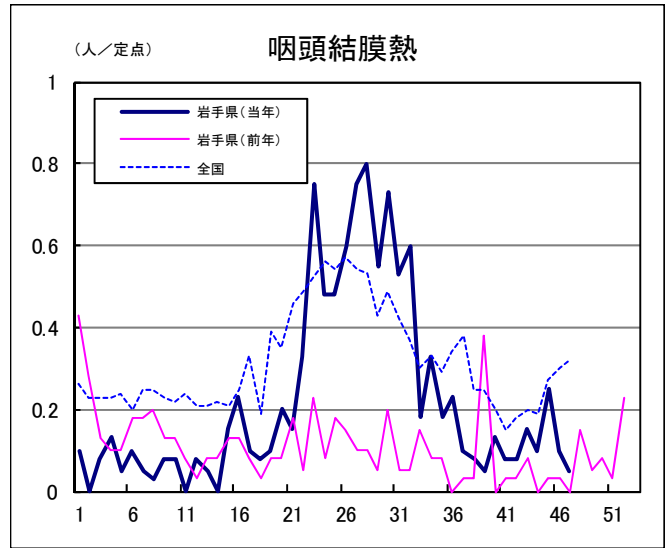
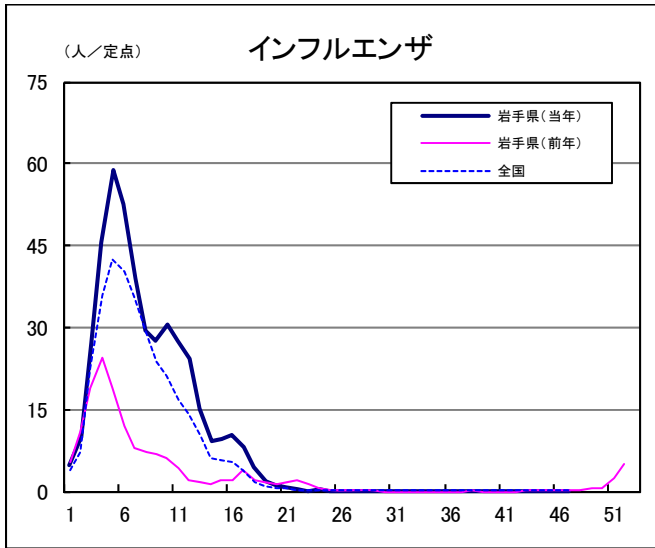
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

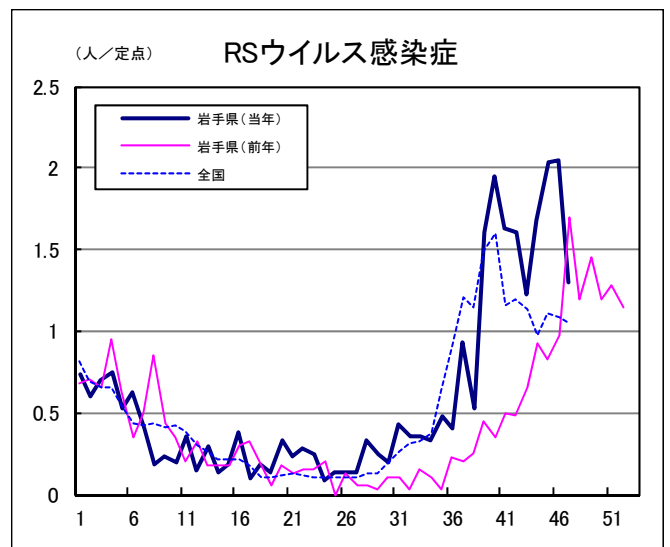
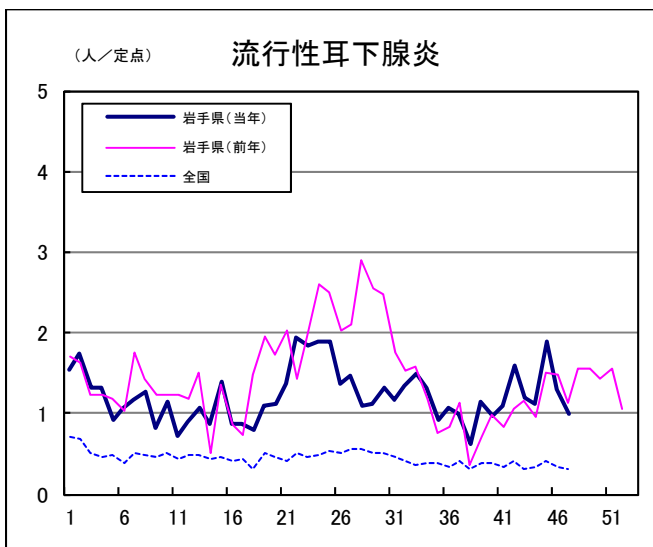
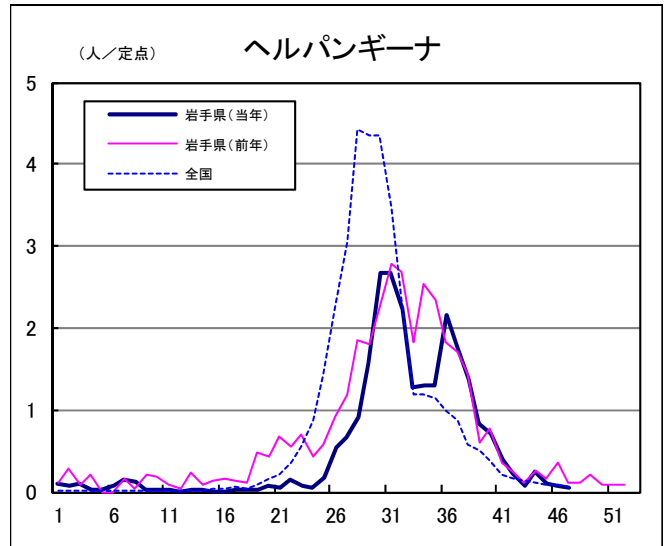
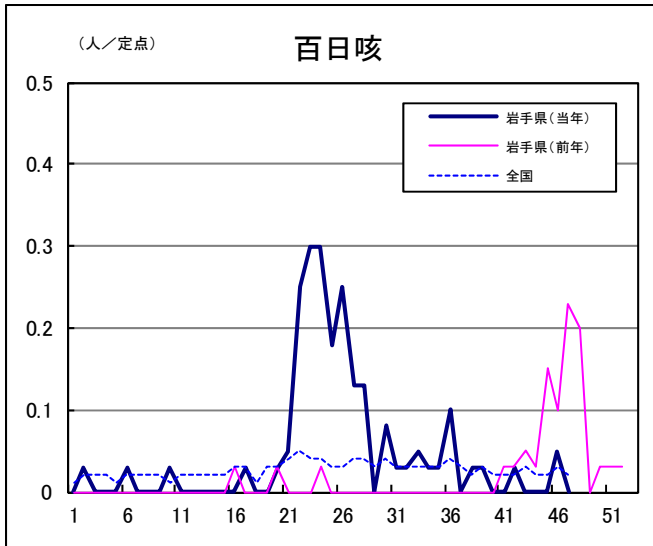
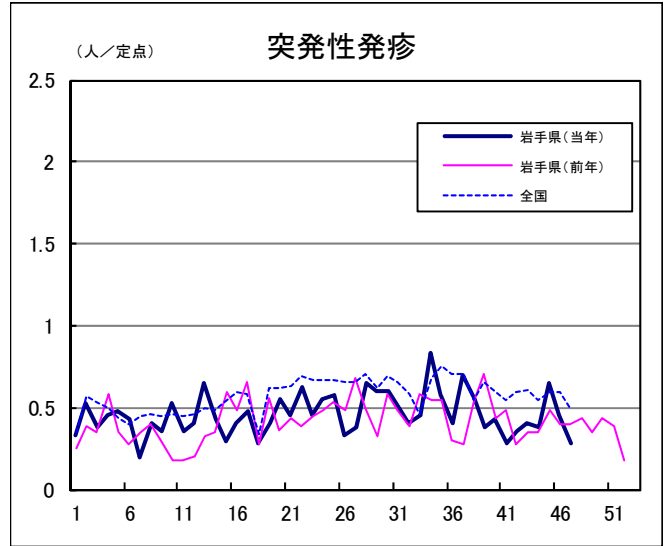
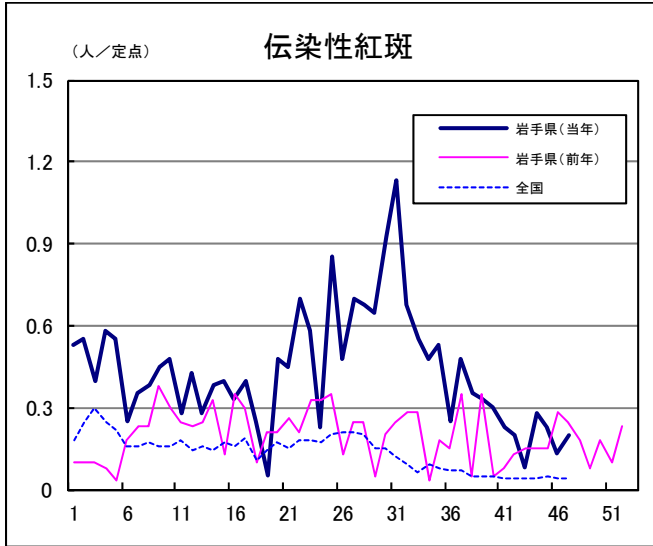
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

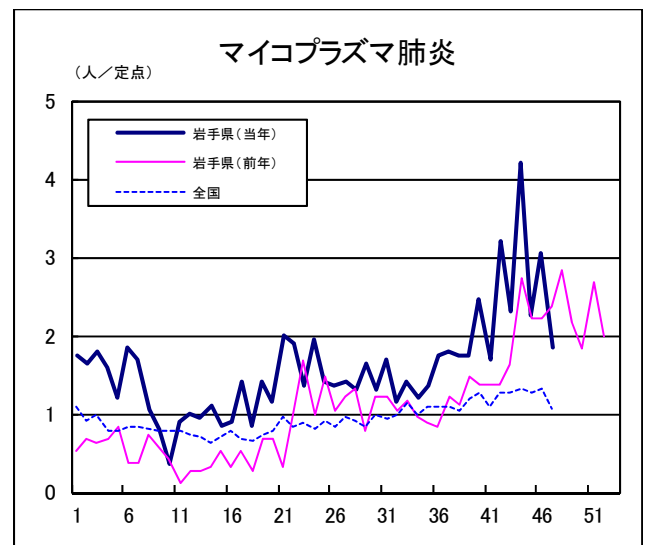
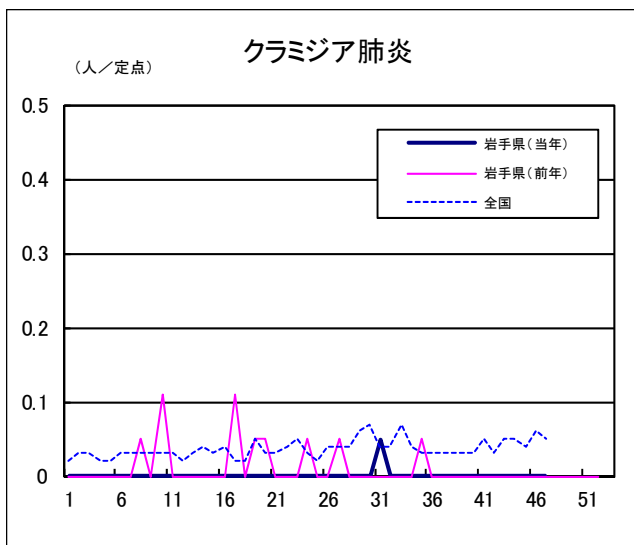
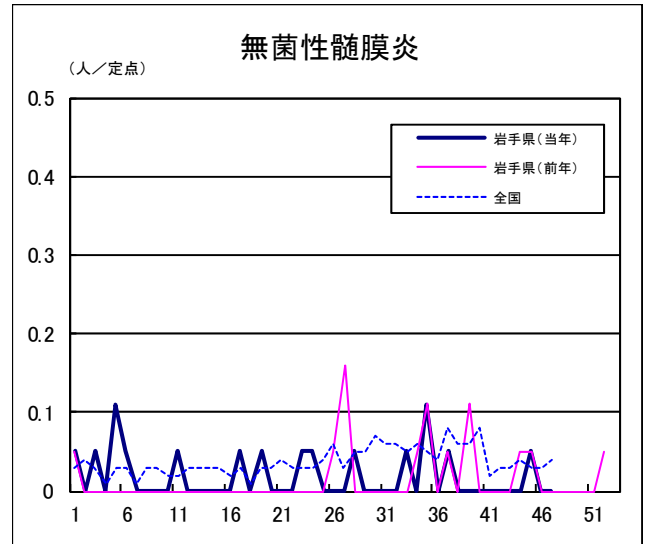
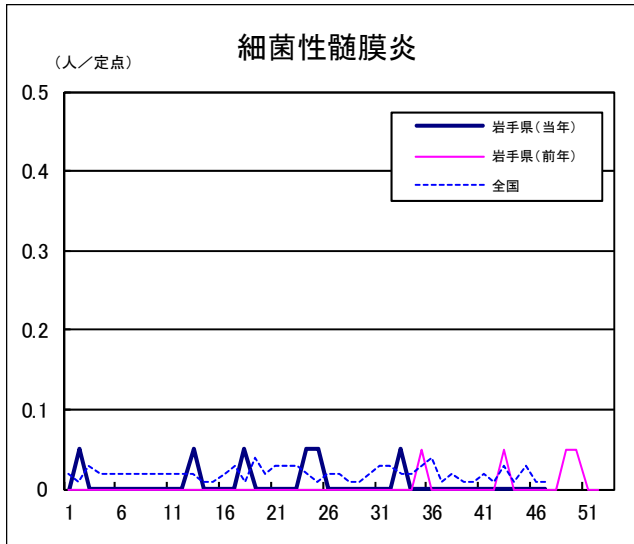
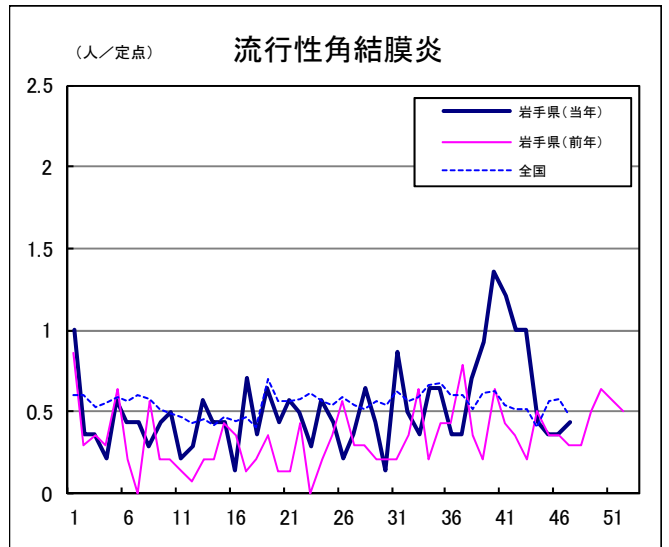
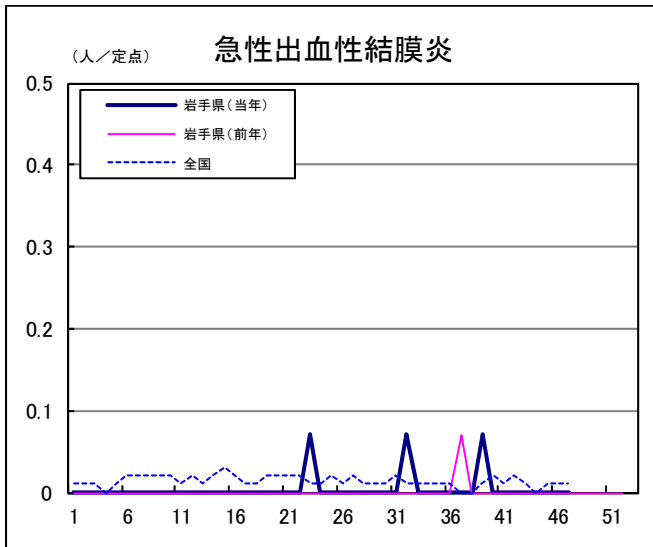


疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		64	40	14	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		7	5	2	0
花巻		7	4	1	2
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第47週 平成24年11月30日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>